⚠ 使用上の注意 ⚠

警告　この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、死亡や重症などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

- 使用前には、必ず取扱説明書を熟読し、本製品の使用方法をよく理解してから安全にお使いくださいますようお願い致します。記載されている使用方法以外では、絶対に使用しないでください。
- 車輌のバッテリー位置などによっては、本製品を使用することが困難な場合がありますので、本製品使用前には、必ず車輌の取扱説明書をよく確認してください。
- 不測の事態を避ける為にも、本製品使用中は、絶対に本製品や車輌から離れないでください。
- 作業中に、万が一バッテリー液が身体に付着した場合は、清潔な水で速やかに洗い流してください。
- 本製品使用の際は、ファン・ベルト・プーリー等に、ケーブルが巻き込まれないよう、十分注意してください。
- 安全のため、本製品使用前には、必ずサイドブレーキを引き、ギアをパーキングにしてください。マニュアル車の場合は、ギアをニュートラルにしてください。
- 本製品の分解・改造はしないでください。
- 可燃性の液体（ガソリン等）やガスのある場所では、絶対に使用しないでください。
- 作業中は必ず換気をし、作業場の通気を良くしてください。
- 安全のため、作業に適した服装で作業を行ってください。
- 本製品は、防水仕様ではありません。雨が降っている中で作業したり、湿った場所や濡れた場所での作業は行わないでください。
- 高温・直射日光下では使用しないでください。また、作業中に周辺温度が 40℃以上にならないよう注意してください。
- 本製品は精密な電子回路を内蔵しております。ぶつけたり、落としたりしないよう取扱いには十分注意してください。
- 使用しない場合は子供の手の届かない場所、又は施錠のできる場所に保管してください。また、子供や幼児の手の届くところで使用しないでください。
- 作業以外、本体や各アダプターに触れないでください。
- 各アダプターを乱暴に扱ったり、引っ張って電源から抜いたりしないでください。
- 本体が異常に熱くなったり、その他異常を感じた場合は、速やかに使用を中止してください。
- 本製品を使用する前に、必ずクランプやケーブル、各部に異常がないかを確認してから作業を行ってください。
- 本製品は、12V 車専用です。他の車輌には使用しないでください。
- **誤った使用方法により、商品が破損･人体への損傷･物品等への損害が生じた場合、一切の保証、ならびに責務は無効となります。**

注意　この表示内容を無視し、誤った使い方をすると、人的障害及び製品の故障やその他物的損害に結びつく可能性があります。

- 車輌バッテリーが、過放電、または劣化した状態である場合は、本製品を使用することができません。
- 本製品は、車載バッテリーの代替品ではありません。車載バッテリーを外し、本製品のみでエンジンを始動させることはできません。
- 使用前には、必ず本製品の充電量を確認してください。
- 本製品は緊急用です。慢性的にバッテリー上がりを起こしている車輌は、その原因を解決し、修理等を行ってください。
- 初回使用前には、必ず満充電を行ってから使用してください。
- ディーゼルエンジン車には使用できません。
- 本製品を保管する際は、クランプ・ケーブルを元の位置に戻し、常温で清潔な場所に保管してください。高温・多湿・ホコリが多い場所や、振動のある場所では保管しないでください。
- 本製品を使用中には、ケーブル・本体などを動かさないでください。また、本製品を安定した場所に置いて使用してください。
- 付属のLED の光を直視しないでください。
- 本製品の使用範囲内であっても、車輌の状態や状況によっては、本製品を使用することが出来ない場合があります。
- 内蔵バッテリーは、時間経過、使用回数、使用方法によっては、著しく劣化する場合があります。内蔵バッテリーの劣化による不具合は保障対象外となります。
- 付属されている、AC100V アダプター・シガーソケット DC12V アダプター以外では、充電しないでください。
- 使用目的以外では、使用しないでください。
- 本製品はリチウム電池を内蔵しています分解しないでください。
- 誤った取付け、分解、改造等による本製品の保証は一切負いかねます。
- 一部のハイブリット車、イモビライザー装着等で、通常のジャンプスタートの方法では不具合が発生する車両がございます。必ず作業前に、車両の説明書などで確認してからご確認ください。
- 電子機器の仕様によりご使用できない製品がございます。
- 本製品は雨や湿った状況で使用しないでください。本器の機能が影響を受ける事があります。
- 本製品は常に安全でしっかりした状態にある事を確認してください。
- 本製品は子供の手の届かない場所に保管してください。
- 本製品は身体や精神に障害のある人（子供を含む）及び、経験、知識の乏しい人が指導又は監督されていない状態で使用する様には設計されていません。子供が本器で遊ばない様に十分気をつけてください。

保証規定

1. 保証期間

製品の購入日より1年間となります。
本書および購入証明書(販売店のレシート)をもって保証の適用とさせて頂きますので大切に保管いただきますようお願い致します。

2.無償修理既定

取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に従った正常な使用のもとで保証期間中に故障が発生した場合に無償修理対応を致します。保証の対象は製品単体及び製品の付属品までとなります。

保証期間内であっても以下の項目に該当する場合は保証対象外になります。

■本製品の取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反する取扱いにより生じた故障の場合。

■お買い上げ後の落下・水没・衝撃・悪条件での放置など不適当なお取扱いによって生じた故障の場合。

■本製品の仕様に適さない機器を接続したことによる故障・破損の場合。

■弊社以外で分解・改造・調整・部品交換がされた場合。

■火災・地震・水害・落雷・その他の天災や異常電圧等による故障・破損の場合。

■本書および購入証明書の提示がない場合。

3. 無償修理お申し込み方法

保証期間内に無償修理を受けられる場合は､本書および購入証明書を製品に添えて､ご購入いただいた販売店にご依頼ください。

4. 免責事項

本製品に使用または使用不能から生じた直接的または間接的損害に対し弊社は一切の責任を負わないものとします。

※ご注意※

万一､弊社の製造上の原因による故障が生じた場合､保証規定に基づき無償修理､交換を致します｡製品以外の損害（車輌本体､車輌部品､工賃､接続した電子機器､メモリー内容に関する事など）の保証は一切の責任を負いかねます｡あらかじめご了承の上ご使用ください｡

商品名 **バッテリーレスキュー　BR-001S**	お名前
製造番号	ご住所
お買い上げ日	電話番号
販売店の住所/電話番号	
レシート貼り付け	

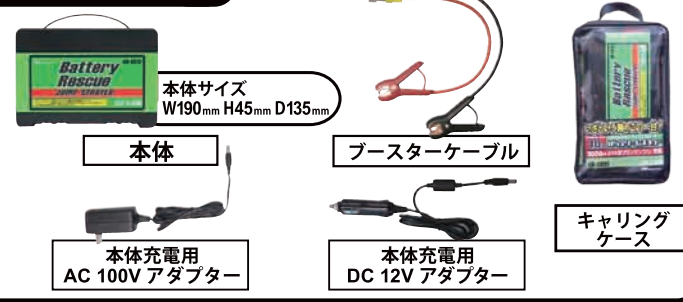
弊社では、お客様の個人情報を本製品の保証以外の目的で使用することはございません。詳しくは弊社ホームページにてご確認ください。

www.sf-j.co.jp　SFJ株式会社
〒279-0032 千葉県浦安市千鳥12-1
TEL 047-316-6091　FAX 047-316-6095

バッテリーレスキュー®　取扱説明書

ご使用前に

- 使用する製品の説明書をよく読み、注意事項を守って作業してください。
- 使用前には、必ず本製品を充電してから使用してください。
- クランプやケーブルに損傷がないか確認してください。
- 車輌の車載バッテリーの状態を確認してください。車載バッテリーが過放電、劣化等している場合は、本製品を使用することができません。
- **BR-001Sは12V乗用車3000ccガソリン車までの対応です。それ以外には適応致しません。**
- **12V車専用です。24V車には使用しないでください。**

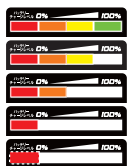
BR-001S セット内容

仕様内容	BR-001S (乗用車3000cc ガソリン車まで)
本体重量	800g（ブースターケーブル、アダプター除く）
始動可能回数(満充電時)	10 ～ 20回
本体の充電可能回数	約 500 回
満充電までの時間	AC100Vアダプター 6時間 / DC12Vアダプター 6時間
放電率	2%（4～6カ月に1回の充電で性能を維持）
動作温度	-20℃～45℃
その他の機能	LED作業灯（両側）
	USB 電源出力　5V／2A
	逆接続時安全保護回路(極性を間違えて接続しても保護回路が 働き，ショートを防ぎます)
	高温／過充電／過電流保護回路
	チャージブースト機能

充電方法

本体横のインプットジャックに**AC100V**アダプターもしくは**DC12V**アダプターを差し込み、**AC100V**アダプターの場合は**100V**コンセント、**DC**アダプターの場合は**12V**（**24V**は不可）シガーソケットにつないで充電してください。

注意
- 充電中（アダプターをつないだ状態）ではジャンプスタート機能は使用できません。
- 「内臓バッテリー温度保護回路について
本体内蔵のバッテリーの表面温度が3℃以下と40度以上になると保護回路が働き充電できません。充電ができない場合には上記の事を考慮し適切な環境でお取扱いください。

充電レベルバーの表示について

パワースイッチを入れるとバッテリー残量を表示します。
※他の作業スイッチを押すと表示が消えます。

緑色ランプ点灯・・・・残量 81 ～ 100 %
黄色ランプ点灯・・・・残量 61 ～ 80 %
オレンジランプ点灯・・残量 41 ～ 60 %
赤色ランプ点灯・・・・残量 21 ～ 40 %
赤色ランプ点滅・・・・残量 20 %以下

※バッテリー残量ランプがオレンジ・赤色の場合速やかに充電してください。

充電時の表示

充電レベルバーのランプが充電状態に応じて赤色→オレンジ色→黄色→緑色と点滅／点灯して行き、緑色ランプが点灯したら充電完了です。

各部名称

使用方法

電源

POWER スイッチを**長押し（1秒）**してください。

オートパワーOFF機能

BR-001Sには、使用していない時に自動で電源を切るオートパワーOFF機能が搭載されております。（何も出力しなくなってから約2分で電源OFF）

サイドライトスイッチ

サイドライトスイッチはボタンを押した回数により下記のようにLEDが点灯・消灯します。

押す回数	サイドライトの状態
1 回	左側のみ点灯
2 回	右側のみ点灯
3 回	両側点灯
4 回	両側消灯

ライトセレクトスイッチ

ライトセレクトボタンは押した回数により下記のように点灯・点滅します。

押す回数	LEDの状態	用途
1 回	赤色点灯	非常時の信号色としてご使用ください。
2 回	白色点灯	正面の補助ライトとしてご使用ください。
3 回	両側点滅(交互)	非常時の信号（より強くアピールする時）としてご使用ください。
4 回	消灯	

5V USB電源出力

本体のUSBカバーをはずし、お手持ちのUSBジャックをつないでください。
（USB ジャックはお客様ご自身でご用意ください）
本体電源を入れると出力を開始します。
（最大出力5V2A）

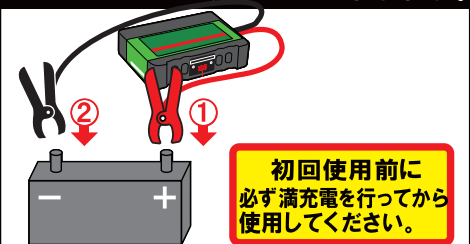
この製品には一定時間（約2分間）使用しないと電池の消耗を防ぐ為、電源を切るオートパワーオフ機能が搭載されています。接続（充電）する電子機器の要求電圧が低い場合に電圧を検知できずに電源を切ってしまう場合がございます。
電源が切れてしまう場合、POWER スイッチを押した後、ライトセレクトボタンを１回押してSOS赤LEDを点灯させてから使用してください。

注意　一部の機器で相互確認ができないと出力を受け付けない（充電しない）機器がございます。

製品を廃棄するには

バッテリーレスキュー本体には、リチウム電池が内蔵されています。本体はリチウム電池を取り出せない構造になっています。リチウム電池はリサイクルできるため貴重な資源です。本製品を廃棄する際は、当社までお送りください。
※お送り頂く際は、本体のみをお送りください。それ以外部品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

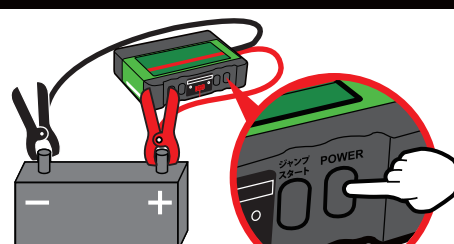
ジャンプスタート使用方法

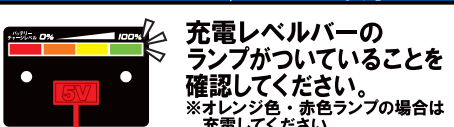
STEP1 バッテリーレスキューをバッテリーにつなぎます。

初回使用前に必ず満充電を行ってから使用してください。

本体の電源が入っていないことを確認して図の順番でバッテリーにつなぎます。
ケーブルのクランプ部をしっかりとバッテリーターミナルに取付けてください。

インジケーター / ライトの表示

何も光っていないことを確認してください。

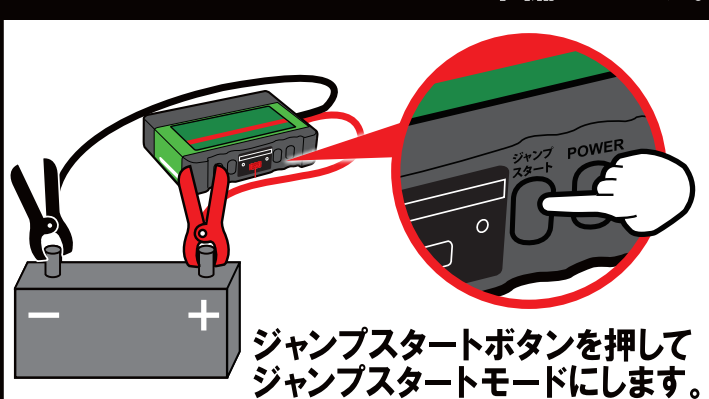
STEP2 本体の電源を入れます

POWERスイッチを長押し（1秒）して電源を入れます。

インジケーター / ライトの表示

充電レベルバーのランプがついていることを確認してください。
※オレンジ色・赤色ランプの場合は充電してください。

本体の電源を入れて白LED とSOS赤LEDが点滅した場合

現　象	対　策
極性（+−）を逆につないでいる時	正しく極性（+−）がつながっているかをご確認ください。1度電源をOFFにして再度電源を入れてからジャンプスタート作業を行ってください。
ブースターケーブルがショートしている時	ブースターケーブルが接触していないかをご確認ください。1度電源をOFFにして再度電源を入れてからジャンプスタート作業を行ってください。

※内臓バッテリーに規定値以上の負担がかかると保護回路が働きジャンプスタート機能を停止します。再度電源を入れると復帰します。

STEP3 ジャンプスタートの準備をします。

ジャンプスタートボタンを押してジャンプスタートモードにします。

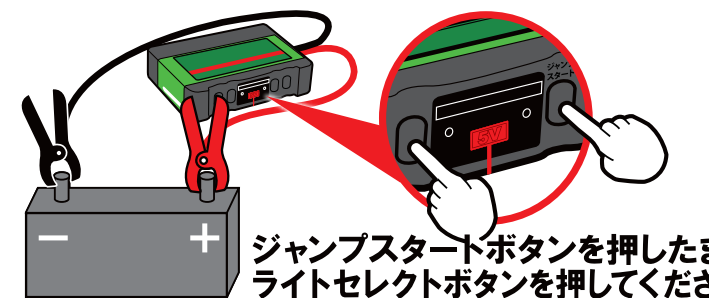
インジケーター / ライトの表示

SOS 赤 LED が点灯します。

SOS 赤 LED が点灯しない場合

現　象	対　策
レスキュー本体の充電容量不足の時	速やかにレスキュー本体の充電を行ってください。
車両側バッテリーの電圧が著しく低い時	車両側バッテリーの電圧が著しく低い場合は点灯しません。その場合、「チャージブースト機能」でのジャンプスタートをお試しください。
車両側バッテリーターミナルとクランプの接点が不十分で、電圧を検知できずに点灯しない時	電源をOFFにして、再度クランプをつなぎ直してください。つなぎ直しても点灯しない場合は、「チャージブースト機能」でのジャンプスタートをお試しください。

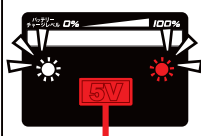
チャージブースト機能を使用する場合

本体内部の電気を１度に放出させてエンジンを強制的に始動させるシステムです。
車載バッテリーが深放電時に使用しますが、本体及び車輌側にも負担がかかるため、通常の方法では始動できない場合のみご使用ください。
また、チャージブースト時は安全回路を通さない為、**バッテリーの極性（＋−）が間違って接続していた場合**など、バッテリーや本体が爆発する恐れがあるので充分に注意してご使用ください。

ジャンプスタートボタンを押したまま、ライトセレクトボタンを押してください。

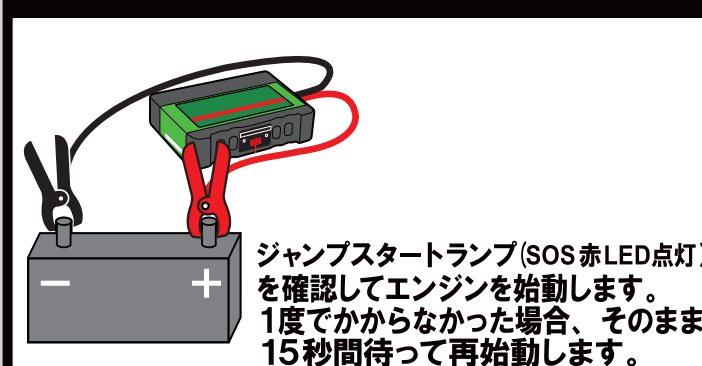
ボタンを押す前に極性（+−）が正しくつながっている事を確認してください。
間違った場合は本体及び車両側バッテリーに重大な損傷を与える場合があります。
車両のエンジンがスタートした後、すぐにジャンプスタートの機能を中止する為に POWER スイッチを押して電源を切ってください。

インジケーター / ライトの表示

SOS赤LEDが点滅します。

チャージブースト時に白 LED と SOS 赤 LED が点滅した場合

車載バッテリー及び車両回路に何らかの異常があると検知しチャージブースト機能を停止します。
この場合、エンジンの始動はできません。

⚠警告
チャージブースト機能を使用する場合、必ず本体が満充電である事を確認してからご使用ください。
1度チャージブースト機能をご使用になった場合、必ず再度充電を行い、満充電にしてからご使用ください。
上記使用方法を誤ると、本体が破裂、焼損する恐れがあります。

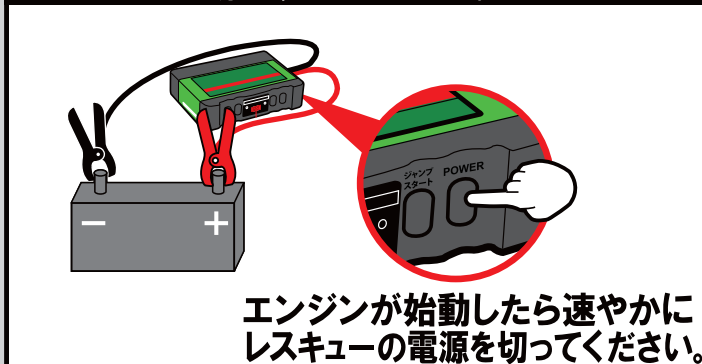
STEP4 エンジンをかけます。

ジャンプスタートランプ（SOS赤LED点灯）を確認してエンジンを始動します。
1度でかからなかった場合、そのまま15秒間待って再始動します。

インジケーター / ライトの表示

SOS 赤 LED が点灯します。

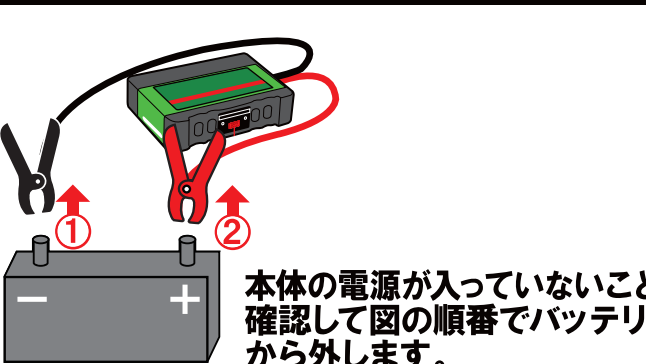
エンジンをかけて白LED とSOS赤LEDが点滅した場合

現　象	対　策
本体に著しく負担がかかった場合 例 ・内臓バッテリーが少なくなった場合 ・セルモーターを長く回した場合 ・適合車両より大きなエンジンを始動させた場合　等	電源を再度入れ直復帰します。

STEP5 エンジンが始動したら電源を切ってください。

エンジンが始動したら速やかにレスキューの電源を切ってください。

インジケーター / ライトの表示

何も光っていないことを確認してください。

STEP6 バッテリーレスキューをバッテリーからはずします。

本体の電源が入っていないことを確認して図の順番でバッテリーから外します。

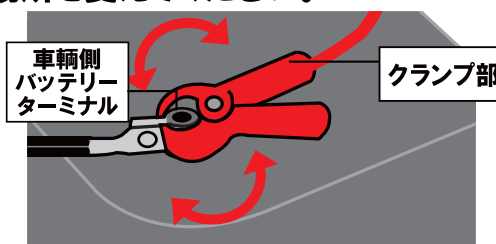
インジケーター / ライトの表示

何も光っていないことを確認してください。

⚠警告
エンジンが始動した後、本体をつないだままにしてしまうと、車輌からの充電流が流れ許容範囲を超え、本体が故障、焼損する場合がありますので、エンジン始動後は速やかに電源を切って、ケーブルを取り外してください。取り外した後に、本体を充電する作業を行ってください。

バッテリーレスキューでエンジン始動できない場合

バッテリーレスキューで SOS 赤 LED が点灯しても始動できなかった場合、以下の事を確認してください。

ブースターケーブルクランプ部と車輌バッテリーターミナル部の接続場所を変えてください。

ブースターケーブルクランプ部はつなぎ方によって、車輌側バッテリーターミナル部との接触面の状態が変わってしまいます。
例えば、接触部分が腐食していたり、付着物により通電しにくくなっている可能性がありますので、角度及び接触面の状況を確認しながら、なるべく接触面が多くなるように調整してください。
必要であれば、接触面の洗浄をお願いいたします。

バッテリーレスキューの電池について

バッテリーレスキューに搭載している電池はリチウム電池を搭載しています。
この電池は深放電（バッテリーを使い切ってしまった状態）になった場合、満充電までに時間がかかってしまう場合があります。
上記のような深放電を防ぐために早めの充電をして頂くことをお奨めします。